

令和7年度 墨田区立第三寺島幼稚園 幼稚園経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 園長 金澤 里美

幼稚園教育目標	◎元気よく遊ぶ子供○やさしい心をもった子供 ○進んで取り組み、最後までやり抜く子供
目指す幼稚園像	園児、保護者、教師が生き生きと毎日を楽しむ幼稚園
目指す幼児像	・心身ともに健康な幼児 ・思いやりの心をもった幼児 ・自分なりの目標をもってやり抜く幼児
目指す教師像	・子供一人一人にしっかりと向き合う教師 ・日々の保育を充実させるために、互いに高め合い、学び続ける教師 ・保護者が子育てを楽しめるよう支える教師

○令和7年度 幼稚園経営計画における重点内容 ○遊びを通しての幼児の学びを保障する ・幼児の興味・関心に沿った環境を構成し、幼児の学びを支える。 ・遊びの振り返りを通して幼児の実態を把握し、明日につながる援助、教材研究を行う。 ○人と人との関わりを大切に、思いやりの心を育てる指導の工夫をする ・幼児が安心して自己発揮できる人的環境及び園環境の工夫に努める。・人と人との関わりを大切に活動を意図的・計画的に実施する。丸○特別支援教育の充実を学級経営に生かす ・一人一人の特性の理解に努め、適切な指導の工夫、改善に取り組み、指導にあたる。

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
保育活動等	○幼児の主体的な活動を促す教育を実施する。 ①幼児の実態把握、幼児理解に努め、日々の振り返りを生かした環境、教材準備をする。	①日々の保育を振り返り、実態や発達を考慮し、翌日の環境、教材準備をする。	4	日々の保育の振り返りの実施状況 80%以上	4	教員アンケートの肯定的回答 80%以上	4	・日々の振り返りを次に生かせるよう、記録の方法、形式なども教員同士で情報交換しながら取り組むことができた。	・保育の振り返りと、翌日の準備にかかる時間のバランスをとりながら進めていくために、長期、短期の見直しをもち進めていくようにする。	A	A	・保育環境、教材準備などが、幼児が伸び伸びと自分たちのしたいことを楽しむ姿につながっている。	
			3	日々の保育の振り返りの実施状況 70%以上	3	教員アンケートの肯定的回答 70%以上							
			2	日々の保育の振り返りの実施状況 60%以上	2	教員アンケートの肯定的回答 60%以上							
			1	日々の保育の振り返りの実施状況 60%未満	1	教員アンケートの肯定的回答 60%未満							
	○特別な支援を必要とする幼児に対するの、組織的な支援を行う。 ①支援体制の充実を図り、組織的に見直しをもった支援を行い、一人一人のつよさを発揮させる。	日常から情報共有を行い、共通理解に基づいて体制を整備し、支援を進める。 ①学校生活支援シート、個別指導計画について、日々の指導の記録、巡回相談の協議をもとに長期休業中に評価、改善を行う。	4	記録を基にした評価、改善の実施状況 100%	4	4	教員・保護者アンケートの肯定的回答 80%以上	4	・日々、情報を共有し、手だてを考えながら保育にあたることができた。また、巡回相談などの機会に専門的な助言をいただくことで、より、個々に寄り添った援助ができた。	・限られた時間の中で支援員、介助補助員との情報共有が更に充実するよう、記録メモやノートの活用などの工夫をする。	A	A	・年度当初集団行動が苦手だった子も、行事などの機会に見ると成長していると感じる。
			3	記録を基にした評価、改善の実施状況 90%以上		3	教員・保護者アンケートの肯定的回答 70%以上						
			2	記録を基にした評価、改善の実施状況 80%以上		2	教員・保護者アンケートの肯定的回答 60%以上						
			1	記録を基にした評価、改善の実施状況 80%未満		1	教員・保護者アンケートの肯定的回答 60%未満						
	○将来の自立に向けた保育活動・相談活動等に取り組む。 ①幼保小の円滑な連携を推進する。	①一人一人がよさを発揮し、可能性の実現に向け、必要な体験を得られるようにする。 ①異年齢交流、及び小学校と連携した交流活動を行う。	4	異年齢交流、小学校との連携実施状況 90%以上	3	4	教員・保護者アンケートの肯定的回答 80%以上	3	・園内での異年齢交流については、場や時間を工夫し継続的に実践できた。小学校との連携は、事前の打合せが十分でなかったこともあった。	・今年度の実践をふまえ、より意図的・計画的に進められるようにする。連携先との打合せも丁寧に行う。	A	A	・小学校と連携した取組がたくさんあり、距離感が近いことで親しみを感じられる。就学もスムーズになるのではないかと。
			3	異年齢交流、小学校との連携実施状況 80%以上		3	教員・保護者アンケートの肯定的回答 70%以上						
			2	異年齢交流、小学校との連携実施状況 70%以上		2	教員・保護者アンケートの肯定的回答 60%以上						
			1	異年齢交流、小学校との連携実施状況 70%未満		1	教員・保護者アンケートの肯定的回答 60%未満						
教員の指導力を高めるための組織的な取組を行う。 ①園内研究、区幼研等で実践的な保育の研究・研修を進める。	視点やねらいを明確にして研究・研修を進め、相互に学び合う。 ①特色ある学校づくり推進園の取組では、昨年度までの実践を深めるとともに、講師から学び、成果を発信する。	4	園内研究会の実施 年10回以上	4	4	教員アンケートの肯定的回答 80%以上	4	・概ね計画通りに実施できた。1月には特色ある学校づくり推進園として発表も行った、成果を発信することができた。	・今年度の課題から、次年度の研究で更に深めていきたいことに迫っていきけるようになる。	A	A	・研究の積み重ねによって教員の指導力が向上している。今後も継続して取り組んでほしい。	
		3	園内研究会の実施 年8回以上		3	教員アンケートの肯定的回答 70%以上							
		2	園内研究会の実施 年6回以上		2	教員アンケートの肯定的回答 60%以上							
		1	園内研究会の実施 年6回未満		1	教員アンケートの肯定的回答 60%未満							
生活指導等	○基本的な生活習慣の定着や人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。 ①家庭と連携した健康な生活リズムや基本的な生活行動の定着を図る。 ②集団のルールや善悪の判断を身に付けさせる。	早寝・早起き・朝ごはん、身の回りの始末の定着について、家庭と連携して進めていく。 ②遊びを通して、集団のルールや善悪について考え、解決していく過程で身に付けさせる。自分の気持ちを調整することも学ばせていく。 ③飼育動物の世話や植物の栽培等を通して、自然体験を広げ、命の	4	幼児の行動変容状況が 70%以上	3	4	保護者アンケートの肯定的回答 70%以上	3	・幼稚園評価では、「自分のことは自分でしようとしている」「約束やマナーが分かり、行動している」という回答もあった。	・園で繰り返し指導するとともに、実態や課題について家庭とも共有できる機会をつくり、連携しながら取り組んでいく。	B	A	・園生活の中で社会性、協同性などが育っている。そのことが家庭へもより伝わるような工夫をしてほしい。
			3	幼児の行動変容状況が 65%以上		3	保護者アンケートの肯定的回答 65%以上						
			2	幼児の行動変容状況が 60%以上		2	保護者アンケートの肯定的回答 60%以上						
			1	幼児の行動変容状況が 60%未満		1	保護者アンケートの肯定的回答 60%未満						
	○幼児の安全・安心な園生活に向けて組織的な取組を行う。 ①自己肯定感を高め、一人一人が自信をもって生活できるようにする。	一人一人の幼児の実態を肯定的に捉え、自己肯定感が高まるような個別指導、学級指導を毎日実施する。	4	自己肯定感を育む指導の実施 90%以上	4	4	教員アンケートの肯定的回答 80%以上	4	・園の教職員全体で、あたためかい関わりをし、幼児を認めていくことで、安心感や自己肯定感につながっている。	・幼児一人一人の自己肯定感が更に高まるよう、家庭にも園での様子や成長を丁寧に伝えていく。	A	A	・個を大切に、温かいまなざしで見守っているからこそ幼児が伸び伸びと成長するのだと思う。
			3	自己肯定感を育む指導の実施 80%以上		3	教員アンケートの肯定的回答 70%以上						
			2	自己肯定感を育む指導の実施 70%以上		2	教員アンケートの肯定的回答 60%以上						
			1	自己肯定感を育む指導の実施 70%未満		1	教員アンケートの肯定的回答 60%未満						
	○危機回避能力の基礎の育成や幼児の安全を確保するための取組等を行う。 ①園生活の安全を高める取組を進める。	園独自の避難訓練や小学校と連携した避難訓練等、日常的に防災・安全教育を進める。	4	安全指導等の取組の実施状況が 80%以上	4	4	教員アンケートの肯定的回答 80%以上	4	・計画通り実施できた。特に、園舎内の安全については、幼児の実態に合わせて行った。	・今後も、実態に合わせて、幼児が自分で考え行動できるよう取り組んでいく。	A	A	・園独自の避難訓練は、とてもよいと思う。継続してほしい。
			3	安全指導等の取組の実施状況が 70%以上		3	教員アンケートの肯定的回答 70%以上						
			2	安全指導等の取組の実施状況が 60%以上		2	教員アンケートの肯定的回答 60%以上						
			1	安全指導等の取組の実施状況が 60%未満		1	教員アンケートの肯定的回答 60%未満						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
園の管理運営	○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。 ①各教員が園経営方針に基づいた目標設定をし、教育課程に基づいて幼稚園運営を行う。	①年3回の学級経営案作成、週1回の打合せにおいて全教職員で共有する。	4	学級経営案作成、週案打合せ実施状況90%以上	4	4	教員アンケートの肯定的回答80%以上	3	・幼児の実態や課題を捉え、目標設定を行い、幼稚園運営を行うことができた。全教職員での共通理解が図られるような機会をもつ必要がある。	・支援員、介助補助員とも共通理解ができるよう、朝会時などの時間を活用する。	B	B	・教職員が協力し教育活動を進めていくために、計画についての共通理解のほかに、振り返る時間も設定できるとよい。
			3	学級経営案作成、週案打合せ実施状況80%以上		3	教員アンケートの肯定的回答70%以上						
			2	学級経営案作成、週案打合せ実施状況70%以上		2	教員アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	学級経営案作成、週案打合せ実施状況70%未満		1	教員アンケートの肯定的回答60%未満						
	○幼児の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価を適切に行う。 ①適正なPDCAサイクルに基づいて学校運営を行う。	①内部の園評価や保護者等の外部評価に基づいて、園運営の改善を進める。	4	評価に基づいた園運営の改善の実施状況が80%以上	4	4	教員アンケートの肯定的回答80%以上	4	・園の自己評価について、教員、支援員、介助補助員が参加し実施できた。また、幼稚園評価により、保護者のニーズを把握することができた。	・肯定的な評価であった点については今後も更に充実させていく。課題となった点について、園内で共通理解を図り、見直ししながら取り組んでいく。	A	A	・今後もPDCAサイクルを大切にしながら取り組んでほしい。
			3	評価に基づいた園運営の改善の実施状況が70%以上		3	教員アンケートの肯定的回答70%以上						
			2	評価に基づいた園運営の改善の実施状況が60%以上		2	教員アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	評価に基づいた園運営の改善の実施状況が60%未満		1	教員アンケートの肯定的回答60%未満						
	○適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。 ①安心・安全を第一に考えた環境整備を行う。	①安全点検を定期的に行い、安全な環境づくりを進める。	4	安全点検の実施状況 90%以上	4	4	教員アンケートの肯定的回答80%以上	4	・計画通り実施できた。特に、園舎内の安全については、幼児の実態に合わせ、時期ごとに見直ししながら実践できた。	・幼児自身の安全への意識が高まるよう、自分たちで考えられるような投げかけ、伝え方を工夫しながら引き続き実践する。	A	A	・子供たちが安全に過ごせるよう配慮が行き届いている。
			3	安全点検の実施状況 80%以上		3	教員アンケートの肯定的回答70%以上						
			2	安全点検の実施状況 70%以上		2	教員アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	安全点検の実施状況 70%未満		1	教員アンケートの肯定的回答60%未満						
家庭・地域連携	○保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。 ①保護者、地域が参画する保育、連携する保育の充実を図る。	①保護者が参加、参画する活動、小学校や関係諸機関と交流する活動を計画的に実施する。	4	保護者・地域等と連携した活動の実施状況が80%以上	3	4	保護者アンケートの肯定的回答70%以上	4	・保護者と連携した活動については充実していた。地域との連携については実施が難しかったり、継続的ではなかったりするものもあった。	・特に地域との連携について、意図的・計画的に進められるようにする。	B	B	・小学校と連携した取組がたくさんあり、幼児にとって貴重な体験ができていく。
			3	保護者・地域等と連携した活動の実施状況が70%以上		3	保護者アンケートの肯定的回答65%以上						
			2	保護者・地域等と連携した活動の実施状況が60%以上		2	保護者アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	保護者・地域等と連携した活動の実施状況が60%未満		1	保護者アンケートの肯定的回答60%未満						
	○教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組を行う。 ①幼児教育の重要性や幼児の成長を、園生活・遊びの姿を通して伝える。	①園だより、学級だより、ホームページ、ドキュメンテーション等により、定期的な発信を行う。	4	様々な発信の実施状況 90%以上	3	4	教員・保護者アンケートの肯定的回答80%以上	3	・園だより、学級だより、ドキュメンテーションについては、定期的な発信ができた。ホームページについては更新回数が必要最低限になってしまっていた。	・次年度はホームページ更新について見直しをもち行えるようにする。更新作業を分担するなどし、必要な情報を、時期を逃さず発信していく。	B	A	・未就園児の会の情報など、詳しく知ることができるとよい。
			3	様々な発信の実施状況 80%以上		3	教員・保護者アンケートの肯定的回答70%以上						
			2	様々な発信の実施状況 70%以上		2	教員・保護者アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	様々な発信の実施状況 70%未満		1	教員・保護者アンケートの肯定的回答60%未満						
	○地域に開かれた幼稚園として、持続可能な園運営を推進する。 ①園運営の様子を広く発信する。	①園運営連絡協議会を通して、地域との連携を密にする。 ①未就園児の会の充実等、地域が園に関わる機会を設定する。	4	園運営の発信や参加する機会確保の状況が80%以上	3	4	園運営連絡協議会からの肯定的回答80%以上	4	・独立園となり、園運営連絡協議会で幼稚園の教育についての発信や、委員の方に意見をいただく機会が増えた。	・地域との連携の機会について情報交換しながら充実させていく。	A	B	・地域の子供を地域で育てるという意識をもち、連携、情報交換をしていくことができるよう横のつながりを大切にしていけることとよい。
			3	園運営の発信や参加する機会確保の状況が70%以上		3	園運営連絡協議会からの肯定的回答70%以上						
			2	園運営の発信や参加する機会確保の状況が60%以上		2	園運営連絡協議会からの肯定的回答60%以上						
			1	園運営の発信や参加する機会確保の状況が60%未満		1	園運営連絡協議会からの肯定的回答60%未満						

○令和7年度 幼稚園経営報告のまとめ（総括）

今年度、独立園となり、教職員も複数入れ替わったが、これまで連携していた地域、近隣小学校とのつながりを大切に、教育活動を進めることができた。幼児は、教職員の温かい関わりのもと、安心感をもち、遊びや生活の中で自己肯定感を高め、自分らしさを発揮する姿が見られる。今後も、教職員が互いに高め合いながら教育活動を進め、本園の特色や幼児の育ちを積極的に発信していくことで、信頼される園づくりを継続していく。